

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Blossamジュニアモア松戸教室		2025 年 3 月 20 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	7	ベットの配置や受け入れ人数の調整を行いスペースの確保を行っている。	土曜日や祭日などは利用者が多くスペースが狭くなってしまうことがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	6	基準に加えてその日に必要な支援の量に対する配置を行っている。	1日の流れなど工夫して職員の動きがスムーズになるように工夫していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	4	視覚的に分かりやすいようにトイレや手洗いの絵カードの掲示などの工夫をしている。	トイレのスペースが狭く介助がやりづらいのもう少し広いトイレが望ましい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	4	毎日掃除を行い気温・湿度計を確認しながら子どもたちが快適に過ごすことが出来るようにしている。	排水溝から匂いが出ることがあるので換気やこまめな掃除を心掛ける。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	6	重心の為個別の部屋を使用する場面はあまりないが、自力で座ることが出来る場合など職員と一緒に細かい作業を行ったりしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	5	ミーティングで情報共有と今後の対策をしている	ヒヤリハットを活用し、予測できる予防策についての洗い出しを行い、改善を行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	保護者向け評価表の情報を共有して、その他にも面談などで得られた保護者の意向について職員で共有し改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	どの立場であっても自由に意見が言える人的環境にある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	10		第三者による外部評価導入を検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	6	事業所内研修を行い、職員の資質向上を図っている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	2	ホームページ上に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	1	送迎の時や、連絡ノート、家族との面談を通してニーズや課題を把握しできるだけの確に現状を捉えるよう努め、計画作成に生かしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	2	職員全員が共通理解できる環境を整えている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14		評価表に長期・短期の目標を挙げ支援計画の目標に沿って関わることが出来ている。適切に管理された中で職員間で共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2	発達検査等の結果等をご提供いただいたり、個別の療育等を通して現在の様子の把握に努めてる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	2	職員間で話し合いを重ね、必要な項目を考えたらうで支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	プログラムについてはそれぞれの専門分野の職員と考え振り返りの中で意見集約し、次回に活かす工夫をしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		児童ごとに合わせた療育内容を考え提供している。 イベントや戸外活動でいつもと違う環境になることで違うアプローチを行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	1	学校や家庭での取り組みを把握し、活動には個別と集団の視点を織り交ぜながら、計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		毎日ミーティングを行い、当日の予定表をもとに直近の子どもの様子やプログラムの詳細などを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	5	毎日支援の振り返りと確認などを話し合い、必要場合は連絡ノートに記入してその日についていない職員にも共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		連絡ノートの記入を行いプログラム、子どもの様子について振り返りをし、支援の方法を確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	2	半年に一度面談を行い、ご利用者やご家族の要望などを受け見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	4	創作・運動・おでかけなど、平日と休日の活動内容を分けて考え、幅広く経験が出来るように工夫して計画を立てている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	1	ハンドサイン等を用いて個々の子どもの持っている機能を最大限に生かし自己決定の場面を作り自己決定をする力を育てる支援をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	3	児童発達管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	3	月に一回受託区による訪問があり、連携して支援を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	2	情報共有、連絡調整共に必要に応じて対応している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	4	児童発達支援事業所との連絡を密に取り情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	5	保護者の意向があれば積極的に対応する。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	6	必要なケースについて、ケース会議の参加、情報の共有を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	9	公園等へ出かけた際は地域の子どもたちと一緒に遊び活動している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	8	管理者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1	連絡帳や日頃の送迎時に話したり電話相談なども行いながら密に連携、情報共有できるように努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	6	研修などは行っていないが、家族が参加できる研修などのお知らせのパンフレットを配るなどの情報共有を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	2	丁寧な説明を心掛けています。 ご不明な点があればいつでも受け付けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	1	半年に一度のモニタリングを行っている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		半年に一度のモニタリングの際に計画書を示し説明を行い保護者の方からサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		保護者の方のお悩みに出来るところは支援、助言を行い、子どもたちの成長について一緒に考えている。。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	9	現在父母の会の活動はありません	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	1	ご契約時に苦情受付の説明を行っている。実際に苦情が出た際には迅速に対応できるように努める。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		日々の活動等ブログでお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		スタッフとの契約時に誓約書を交わしている。ブログ等の掲載についても利用契約時に同意を頂けた方のみ使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		個別に対応し、必要な支援が行き届くように努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	8	招待する行事等は行っていませんが、イベントの時などに地域の方との交流を行なっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	5	各種マニュアルはいつでも閲覧できる状態で掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	3	半年に一度、消防署への届を行い避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		個別にカードを用意しチェックしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	1	保護者の方に医師の指示書を提出していただいている。指示書に基づき看護師が対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	4	安全計画を作成し掲示している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	4	保護者の方に十分な告知をこころがけている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	5		スタッフ全員ヒヤリハットを足してもらうことを目標にして、事例を深める検討会も行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	5		虐待防止を目的とした支援の振り返りチェックシートをスタッフ全員に行う。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	3	入所時に保護者様へご説明させて頂き、了承の署名をいただいている。	